

明聖TOPICS

明聖トピックス

2017.DECEMBER No.91

発行:学校法人 花沢学園 千葉市中央区本千葉町10-23
明聖高等学校 TEL.043(225)5622

URL:http://www.meisei-hs.ac.jp

第17回

体育祭

いそぎ~!!



〈白組スローガン〉
「疾風怒涛」

〈赤組スローガン〉
「Rising Sun ~陽はまた昇る~」

10月26日(木)、明聖高校総合グラウンドにて、第17回体育祭を開催しました。今年度も赤白二色での対戦となりました!

体育祭プログラム

- ① 開会式 準備体操
- ② 応援合戦1
- ③ 棒引き
- ④ そりりー
- ⑤ 色別対抗綱引き
- ⑥ 体育チャンピオン決定戦 スピード王 予選
- ⑦ 応援合戦2
- ⑧ 玉入れ
- ⑨ クラス対抗障害物リレー
- ⑩ 体育チャンピオン決定戦 スピード王 決勝
- ⑪ 赤白対抗リレー
- ⑫ 明聖コレクション2017
- ⑬ 開会式 表彰

たくさん、入れろー



『玉入れ』
赤白2クラスずつに分かれて、相手チームのデイフェンスをかわしながら、玉入れを行いました。
思ったほど玉がカゴに入らなくて悔しかったです。じゃまし棒もあって、面白い競技になったと思います。応援も盛り上がっていました。
(1・1 齊藤 怜那)

◎1年生種目
『そりりー』
男子は3人1組、女子は4人1組になり、そりに乗った生徒を引っ張ります。各クラス作りのそりは、個性に溢れていました。
最初どうなるか不安でした。いざ乗ってみると、もの凄く速くて驚いたけど、とても楽しかったです。
(1・2 中村 京柊)

イフ、ニフ、イフ、ニフ、イフ、ニフ



◎2年生種目
『クラス対抗障害物リレー』
4つの種目に分かれてリレー形式で行いました。おんぶやデカパンなど、笑みがこぼれる競技となりました。
2人1組で走ることの難しさを実感しました。途中、心が折れそうになった時、応援の声が聞こえて、応援のパワーを感じました。
(2・1 小高 結衣)

◎3年生種目
『明聖コレクション』
クラス一丸となり、担任を变身させるといって、明聖高校ならではの名種目です。
最後の最後に先生を交えての競技で、会場が温まったようでした。楽しかったです。昨年までと違い、考案から競技まで参加したので楽しみ方が変わりました。
(3・1 福岡 百)

先生たちは何に变身したのかな?



◎2・3年合同種目
『棒引き』
クラス選抜による、棒引きです。男子も女子も白熱する戦いを見せてくれました。引きずられながらも棒に喰らいつく姿は遅かったです。
◎選抜種目
『色別対抗綱引き』
クラス選抜による、綱引きです。力の差が出る試合もありましたが、大盛況の綱引きとなりました。結果は白組の圧勝!



走る前は勝てるか分からず不安でしたが、決勝までいって、更には1位を取ることができ、すごく嬉しかったです。(1・4 今富 玲奈)

『体育チャンピオン 決定戦』

クラスの代表男女2名ずつによる、体育チャンピオン決定戦！学校で1番の俊足を決める種目です。普段見ることのできない姿に、皆が圧倒されました。なんと男女共に1年生がスピード王に決定しました。



引け〜っ!



【結果発表】

優勝 白組
準優勝 赤組
各賞受賞者

〈最優秀選手賞〉

3年2組 正木 アケミ

〈優秀選手賞〉

3年1組 佐藤 優規 3年2組 久保木 未来

〈敢闘賞〉

3年3組 古谷 透子 3年3組 眞壁 夏妃
3年3組 渡邊 早希 2年3組 坂本 真結花

〈団旗デザイン賞〉

2年2組
〈体育チャンピオン決定戦〉

スピード王

男子の部
1年2組 柴田 旭
女子の部
1年4組 今富 玲奈



『赤白対抗リレー』
男女2名ずつがクラスの代表として、バトンを繋ぎます。生徒だけでなく、途中に先生も走り、最も盛り上がる種目でした。最後まで目の離せない、素晴らしい戦いでした。



がんばれ!

◎全校種目 『応援合戦』
応援団の指揮のもと、練習を重ねてきた応援。練習でも一生懸命な姿を見ていましたが、本番は今まで以上の出来を見ることができました。「応援団のみんな、本当にかっこよかったよ！」

楽しい思い出になりました!

私はクラス団旗を描きました。最初は私よりもっと絵の上手い子もいるので団旗を描くのは申し訳ない気持ちもあつたけど、団旗の賞を取ることが出来て、良い思い出になりました。(2・2 澤本 好)

3年生最後の体育祭がこんなにも楽しいと思っていなかったです。実行委員長も私の高校生活で良い思い出となりました。(3・2 久保木 未来)



英語での自己紹介!!



11月14日(火)に秋季研修が実施されました。少人数に分かれたグループで、上野と浅草散策をしました。

各国の留学生と交流を深めつつ、上野と浅草の観光名所を英語で留学生に紹介していただきました。その行程の中には、留学生に英語で質問する、英語で書かれたヒントを頼りに、特定の場所を探し、写真を撮る、というミッションが用意されていました。

1年生
秋季研修



in 上野・浅草

留学生は日本語が上手で、分からない英語を聞くと、日本語で教えてくれました。上野公園について勉強していたようで、詳しく知っていたので驚きました。

(1・1 川村優依)

まずは、上野の東京文化会館前に集合し、グループごとに自己紹介をしました。初対面で、英語での発表のためドキドキした様子でした。自己紹介を終えるとグループごとに出発。いよいよ秋季研修の始まりです!



① 上野

チェックポイントは西郷隆盛の銅像前。各班、留学生に英語で西郷隆盛像の説明をしてから銅像前で写真を撮りました。



あれが西郷像だー!!

② 浅草
浅草でのチェックポイントは雷門。仲見世通りを楽しみながら、浅草寺へ向かうグループが多く見られました。有名な観光名所というだけあって、



英語で案内できるかな?

しおりに書かれていた質問を使って、全員が留学生と英語で交流を図ることができました。留学生も丁寧に答えてくれたので、うまくいきました。

(1・2 金澤拓輝)



仲見世通りでバシヤリ!!

秋季研修では、「英語に対する抵抗感を減らし、英語学習への意欲喚起に繋げる。」「能動的な活動を通し、他者との

計画通りに、様々なスポーツをまわっていきました。仲見世通りでたくさんのお土産を食べました。残りの時間で浅草寺のおみくじを引きました。

(1・4 小原そよか)

留学生だけでなく、たくさんの外国人で賑わっていたので、生徒にとっても良い刺激になったのではないのでしょうか。

英語ではうまく話せませんでした。伝えたいことはしっかり伝えることができました。留学生からも話しかけてくれたので、楽しかったです。この研修で英語の面白さが分かりました。

(1・1 佐藤眞登)



事前準備で、自主的に動く生徒たちを見て、入学したときと比べ大きく変わった姿に成長を感じました。また、今回の研修は3年生での海外研修を意識した研修でもありました。英語でコミュニケーションを取るための

おいしいものがたくさん!!



関わり深める。」「研修に対する不安を解消し、達成感を味わう。」「ことを目標として実施しました。少人数のグループ活動における役割の大切さや、初対面の留学生とどのように接していくか等、多くのことを学びました。

努力や、やっとの思いで伝えることができた時の喜びはかけがえのない経験となったはず。今回の研修で学んだことを、今後の学校生活や将来に大いに役立てていきたいと思います。

秋季研修を通して、英語の大切さを知りました。そして、留学生に日本を案内される形になってしまったので日本のことをもっと知っておかなければならないと思いました。これからもっと英語を頑張りたいです。

(1・3 高橋利空)

留学生とは英語での会話だったので少し難しかったけど会話できました。留学生からいくつか質問されましたが、どれも英語で答えられたので良かったです。

(1・3 川原徳樹)

担任の先生も一緒に◎



進路ガイダンス

11月2日(木)の3～5時限に、全日コース1・2年生を対象とした進路ガイダンスを実施しました。

○職業についてのグループワーク

3時限目の時間を使い、2年生は講堂、1年生は各クラスにて、世の中にある様々な職業を知るためのグループワークに取り組みました。職業名の書かれた80枚のカードと専用のワークシートを使い、説明文に当てはまる職業がどれなのか、グループのメンバーで話し合いながらカードを置いてシートを埋めていきました。誰もが知っているような職業から初めて目にするような職業まで、頭を悩ませながらも楽しんで学ぶ姿が見られました。



○職業ガイダンス

4・5時限目は、専門学校から講師の先生方をお招きし、各分野の職業について講演して頂きました。生徒たちは、事前にアンケートを実施し、IT・情報、自動車、音楽、エンターテインメント、美術、デザイン、公務員、語学、美容、栄養・調理・製菓、スポーツ、健康、幼稚園・保育、福祉、動物の12分野の中から2つを選挙しました。各分野でどんな仕事に就くことができるのか、その職に就くために今のうちにすべきことは何か等、将来につながる話に生徒たちは熱心に耳を傾けていました。



赤い羽根共同募金活動報告

11月1日～12月13日までの間、京成千葉中央駅前とJR本千葉駅前、また校内にて、明聖会と有志の生徒たちによる赤い羽根共同募金活動を行いました。

道行く人々に「赤い羽根共同募金です。お願いします。」と大きな声で訴える姿はとも頼もしく、通りかかる人々にも熱意が伝わっていたようでした。募金とともに温かい声や励ましの言葉をかけてくださる方もいて、大いに生徒たちの励みになりました。

赤い羽根は、「助け合い」「思いやり」「しあわせ」のシンボルで、昔から世界中で勇気や良い行いのしるしとして使われてきたそうです。集められたお金は、一人暮らしのお年寄りの方に温かい食事を届ける活動、障がいのある方々をお手伝いする活動、また、大きな災害のボランティア活動の資金として、その地域の福祉活動の充実のために幅広く使われています。

今回の活動により、生徒達は自分たちの住む町をより良くするため、また困っている人を助けるため、自分達が今できる事に積極的に取り組むことの大切さを学ぶことができました。

今回の活動により、現在79,514円寄付して頂きました。ご協力ありがとうございました。



編集後記

今号では体育祭について特集しました。全力で頑張る生徒たちの姿は、とても素晴らしいです。

また、一学年は語学研修を目的とした行事である秋季研修を行いました。留学生との交流を通して多くのことを学んだことでしょう。

生徒の皆さん、今年も残りあと僅かです。思い残すことなく新年を迎えられるよう、日々を大切に生活しましょう。川口寛人

